

## 火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

コロナの終息を迎えた今だから言える事ではあるが、日本中の外食企業にとってコロナの行動制限は倒産の危機であり、ほぼ全ての企業が多額な借金を背負いコロナの終息を待っていた。それは火の魂カンパニーも例外ではなく、多額な借金や補助金で何とか社員の雇用を守り抜くのに必死だった。 ※社員がお店を守ってくれ全てが成り立っていました。コロナ終息のタイミングに合わせて4月末にグランドオープンした「和だし醤油らぁめん穂華鹿沼店」は会社を好転させる私が放った攻めの旗艦店です。

3年前の社長からの手紙を読み返して見てください。 私の予想は「コロナは3年続く」「需要と供給のバランスが崩れて価格が高騰する」「コロナ終息の時に会社が飛躍する」これらは私が予測していたとおりになり、この鹿沼店はコロナ終息に合わせて会社を飛躍させる勝負店舗です。 コロナ禍での3年間は終息に向け「地を耕し、種を巻き、水を与える準備期間」働く人にとっては一番大変だった3年間、そしてこれからの3年間はコロナ禍で「私達の撒いた種が芽を出し、葉が茂り果実を収穫する」この果実とは私が理想とするALLWINの会社が形になります。社員の皆さんコロナ禍をよく耐え忍び諦めないで私を信じてついて来てくれました。 これからの3年間で共に飛躍し喜びを分かち合おう！

さて今月の社長からの手紙は、社会人として「好かれる人」の特徴を書いてみたいと思う。これは学校では教えてくれない、社会人で上手くいく人の特徴でもあるから、何度も読んで実践してほしい。 社会人いや社会で優位に立つ人の特徴を一言で言うと「好かれる人」である人であり、逆に社会で孤立したり、社会で馴染めない人の特徴は「好かれない人」極端に分けると、この2つになります。 敢えて今日の手紙では好かれる人の特徴しか書かないが、好かれる人の逆を自分自身で行っていないか確認してほしい。

「好かれる人」は、人と会うと『犬』になり、家に帰ると『猫』になる人である。

家族を待つ犬は、主人が帰ってくると尻尾を振りまくり、「会えて嬉しい！」を体中で表現する。 社会でも同じで、「会えて嬉しい！」表情・言葉・体中で表現できる人は好かれるし、一緒に働く人から好かれる人は、身の回りに人が集まり協力もしてもらえて仕事も上手くいくし人間関係も良い。 そして家に帰ったら猫くらいで丁度よく、「今日はありがとうございました。またよろしくお願いします。」とサラッとしたお礼のメッセージが良い。 そしてまた次回会えたときに、「会えて嬉しい！」「お会いできて光栄です！」「久しぶりですね！」にご主人に会えた『犬』の如く敢えて嬉しいを表現する。

逆に「好かれない人は決まってこの逆をやる」、会えば猫の様に「いたの？」的な表現をして、家に帰ってから本心をメッセージする。 大切なことは会ったときに表現する事「好かれる人になる」それは技術です。 人に好かれる技術は会ったら『犬の挨拶』、家に帰ったら『猫のお礼』と覚えておこう。 私も社員に会うとき、PAに会うとき、知り合いに会うときに技術として実践しているから、好かれない人から脱却出来たのだと思う。 社会に出て「好かれる人」になることが、社会という組織の中で大切なことなのです。